

# 謹んで新年のご挨拶を 申し上げます



医療法人社団 海仁  
理事長 海谷 忠良

新年あけましておめでとうございます。

今年は申年ですね。この「申」という文字は、果実が成熟していつて固まっていく状態を表しているそうです。

また、「猿」は木の上を飛び回る活発な印象を持つ動物です。頭の回転が早くいろいろなことに臨機応変に機敏に対応したり、サービス精神が旺盛という例えもあるそうです。

今年の干支に象徴されるように行動力を発揮され、その努力が形になるような良い一年となりますように、心よりお祈り申し上げます。




昨年を振り返りますと、世界各地で自然災害やテロが頻発しました。日本においては、安全保障関連法案が強行採決されるなど、平和が脅かされる出来事が多くございました。

特に安全保障関連法については、日本が戦後70年守り続けてきた平和を壊し、戦争に巻き込まれるのではと、大変不安に感じます。

私は戦後の生まれですが、戦争の悲惨さや、今もなお原子爆弾による後遺症に苦しんでいる方のお話を聞くと、再び悲劇を繰り返してはいけないと強く思います。

安全保障関連法の採決の際には、多くの国民が国会周辺を囲み、皆の平和に対する意識が大きく変わったと感じています。これを一時的なものにせず、継続的に注視していくことが我々の今後の課題だと考えております。



## 患者様主体の医療をさらに追求 視力の質を高める先進的医療の提供を

### ◆ 海谷眼科の待ち時間について

#### 昨年の予約制度の振り返り

昨年は予約制度の見直しと再構築を行い、「診療時間を順守出来る適切な予約枠の設定」「診察医師の変更」「医療連携の強化」「予約の時間・曜日のご提案」について取り組み、ムダな待ち時間の削減に努めて参りました。

しかしながら待ち時間に対する多数のご指摘を頂きました。予約体制の構築は依然不十分であり皆様にご迷惑をおかけしております。

今年は予約体制の構築に対する熱意を、より前面に出し、新しい取り組みをすることによって、待ち時間の問題を解消して参りたいと考えております。

#### ムダな待ち時間と、必要な待ち時間

待ち時間は、「検査」・「診察」・「会計」など様々な部分で発生しております。患者様の症状や、検査・診察内容により滞在時間が長くなる場合がございますが、ご理解の程よろしくお願いいたします。

当院といたしましては、こういった診療に必要な待ち時間とムダな待ち時間を区別し、非効率な処理や作業などを徹底的に排除して参ります。

会計につきましては、昨年自動精算機を導入いたしました。ハードとソフトの両面から工程について再度見直し、改善に努めて参ります。

#### 土曜日の診察の集中について

特に土曜日は、半日診療という限定もあるなかで来院希望者が集中してしまうという問題があります。

医師の数を増やすことができない状況でもあり、平日であっても仕事帰りに診察にお越しいただけるような環境を整備するなど、土曜日の混雑を緩和出来る対策を検討していかなければと考えています。

今後きめ細やかな分析をし、皆様に待ち時間対策を提示させていただく所存です。皆様のご理解を得られるよう努力して参りますのでよろしくお願いいたします。

#### ムダな待ち時間改善の為の検討事項

必要な待ち時間と、  
ムダな待ち時間の違いを明確にする

患者様一人ひとりの診療時間を、  
正確に予測できるようにする

平日のお仕事帰りに受診できるように  
特定の曜日の受付時間を延長する 等

検査日と診療日を分割し、  
一日の滞在時間を短縮する

予約は患者様個々の症状やご都合などによって調整が必要な部分が多くございます。患者様にもご予約日の調整などのご協力をいただきますようお願いして参ります。

## ◆ 視力の質を追求した白内障手術

海谷眼科、かけ川海谷眼科では、合わせて年間 3,000 件以上の白内障手術を行っています。昨年からは、日本を代表する白内障手術の権威である筑波大学附属病院 大鹿哲郎教授にも執刀いただいております、おかげさまで白内障手術数が増加し、患者様の手術待機期間を大幅に短縮することができました。

また、患者様の視力の質の向上の為、トーリック眼内レンズ、多焦点眼内レンズを積極的に提供しております。昨年は新たにプレミアム多焦点トーリック眼内レンズ「LENTIS®」の使用を開始いたしました。

また、より安全・確実・スピーディーな白内障手術を実現する最先端手術装置「CENTURION® Vision System」も導入いたしております。

※トーリック眼内レンズ：  
乱視矯正機能のついた眼内レンズ



海谷眼科では、今年はさらに一歩進んで、フェムトセカンドレーザーを用いた最新白内障手術装置「The LenSx® Laser」を導入し、多焦点眼内レンズの手術を中心に使用する予定です。フェムトセカンドとは 1000 兆分の 1 秒のことです。コンピューター制御により超高速のレーザーをミクロンスケールの精度で照射し組織を切開することで、高精度かつ定量的な手術が可能となり、良好な視力を獲得することができます。

また、乱視の状態を術前から術中まで正確に把握し、より高度な乱視の矯正を実現する最新機器「Verion™」も導入し、医療の質と安全性の向上に努めて参ります。



LenSx Laser®

## ◆ 先進的機器導入による治療の質の向上

かけ川海谷眼科では昨年画像ファイリングシステム「イメージネット」サーバーを更新し、データ保管方法の強化を図りました。

今年は OCT アンギオグラフィーを導入する予定です。これは網膜の表層と深層の血管網を分けて観察することが出来る最先端の眼底検査器械で、今まで以上の詳細な眼底の観察が可能になり、より診療の質を高めることが出来ます。

今後も先進的な機器を導入することによって、診断・治療の向上を図って参ります。

## ◆ 医療の透明性の確立

『カルテは患者様のもの』という理念に基づき、海谷眼科（助信町）では平成 17 年から電子カルテを運用しています。

みどり台海谷眼科でも、本年の 3 月に電子カルテを導入する予定です。

医療の透明性を確立するため、患者様には来院ごとに電子カルテから診療録を印刷してお渡しいたします。病名や当日実施された各種検査結果、医師の所見、処方薬を情報公開することによって、積極的な治療参加・治療方針の選択をしていただけるようになります。







## 為せば成る 為さねば成らぬ何事も

### 成らぬは人の 為さぬなりけり

去年は、フォルクスワーゲンの排ガス規制不正や、東芝の不適切な会計処理、旭化成の基礎工事データの改ざんなど、企業倫理が欠如していると言わざるを得ないニュースがありました。

このようなことはあってはならないことです。私どもは、患者様のことを第一に考え、しっかりとした倫理観を持ち、遵法精神を持って業務を行っております。これは医療の基本であり、患者様との信頼関係を得るために一番大切なことだと考えております。

職員への教育も徹底して行い、厳重なチェックも日頃より行っております。また私自身も自らを律する気持ちで取り組んでおります。能力があってもしっかりとした倫理観や理念がなければ人の上に立つことができないと考えるからです。

今年も診療報酬改定があり、医療経営はますます厳しさを増していくものと思われまます。このような困難な時にも不正などは絶対にしてはいけません。我々はしっかりとした倫理観と理念を持って邁進して参ります。

江戸時代山形の米沢の藩主 上杉鷹山が『為せば成る 為さねば成らぬ何事も 成らぬは人の 為さぬなりけり』ということをおっしゃっております。

まさにその通りです。願いの成達は勝手に訪れるものではなく、自らの力で作りあげるものです。思い通りの結果が得られていない時は、実現に向けた努力がなされていないと考えるべきで、出来ない理由を探し、あげく不正をはたらくことは一番の悪です。

私たちはより高度で良質な医療・サービスの提供と、海谷眼科グループの理念である「患者様主体の医療」の追求の為、今後も遵法精神を持って全身全霊をかけて努力して参る所存です。

どうぞ本年もよろしくお願ひいたします。皆様にとって実りのある幸せな一年となりますようお祈りし新年の挨拶とさせていただきます。



## 海谷眼科グループトピックス

昨年12月に海谷眼科グループのホームページをリニューアルいたしました。

スマートフォンにも対応しており、より見やすく、便利に知りたい情報を閲覧いただくことができます。最新の医療・サービスを提供するための当院の取り組み、これまで発行した広報誌もご紹介しております。ぜひ御覧ください。

